

地域密着型特別養護老人ホーム

愛護苑

広報
第23号

2021.3.26

印刷 あべ印刷株式会社

- 発行 社会福祉法人 愛護会 地域密着型特別養護老人ホーム 愛護苑
- 住所 〒023-0132 岩手県奥州市水沢羽田町字水無沢491-3
- TEL 0197-51-6835 ●FAX 0197-51-6836 ●URL <http://aigokai.jp/>
- 責任者 千葉信男 ●E-mail aigoen@aigokai.jp
- 編集 今野暢也 岩城利行 阿部美由紀 遠藤華蓮 高橋護 切金唯希 成田朋子



令和二年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により様々な制約の中での施設運営となりました。利用者さんやご家族の皆様にとつても、外出自粛や面会制限等、大きなストレスになつたと思います。

大変な一年ではありましたが、コロナ禍でどのように感染対策をとりながら介護を行うか、どのような形で行事や余暇支援をして利用者さんに楽しんでいただけるか、ということを職員が考える良いきっかけになつたとも言えます。来年度も引き続き活動制限をしながらの運営になると想われますが、ご理解ご協力の程、よろしくお願ひ致します。

しばらくはご家族様の面会制限も継続せざるを得ませんが、愛護苑ではZoomを活用したオンライン面会を実施しています。カメラ付きのパソコンやスマートフォン等があれば、ご家族様と苑内の利用者さんをつないで会話をしていただくことができます。必要な機材がない又はZoomの使い方がわからぬといつの方は、来苑いただければ苑内でオンライン面会をすることも可能です。これまで多くの利用者さんとご家族様にご利用いただいております。不明な点等はお気軽に愛護苑までお問い合わせください。また普段のユーチュートの様子は愛護苑ホームページのユーチューブログでお伝えしていますので、是非ご覧ください。

二月からは医療従事者へのワクチン接種が始まりました。四月以降、高齢者へのワクチン接種も予定されています。引き続き感染対策を徹底しながら、ワクチンの接種と効果に期待したいと思

コロナ禍の一年とオンライン面会

施設長補佐 真柳 信

信

ひなまつり



愛護苑では毎年三月三日にひな祭り行事を行っています。愛護苑の利用者さんは一足先に春の訪れを感じて貰つ為、正面玄関から入ってすぐの場所と二階にお雛様飾りを設置し、お雛様と並んで写真撮影を行いました。密にならないように短時間、少人数での写真撮影となりましたが利用者さんは笑顔が見られ、「お雛様きれいだつたよ」と喜びの言葉を頂きました。また、雛祭り当日の昼食には見た目の可愛い手毬寿司、春の香りを纏つたたらの芽のてんぷらなど春らしいメニューを作つて頂きました。暦の上では春を迎える日には十度を超える日が多くなつてきました。しかしながら朝晩冷え込む日はありますので、利用者さんや職員も体調に気付けて過ごしていきました。

節 分



一月一日、節分行事を行いました。「節分」とは季節の変わり目(節目)にあたる日のことです。元々は立春・立夏・立秋・立冬、それぞれの前日を指していたそうですが、旧暦の年の始まりである立春が重要視され、現在では立春の前日のみを「節分」と呼ぶそうです。今年は立春が一月二日になつたため、節分が一月一日になつたと言つ事です。これは百二十四年ぶりの事だそつです。職員は鬼の面を、利用者さんにも様々なかぶつてもらい、「福は、うち、鬼は、そと」と鬼に扮した職員に向かつて楽しそうに豆をまいておられました。節分の豆まきを通して季節の行事を楽しんで頂けたのではないかと思います。昼食には恵方巻をイメージした巻き寿司が提供されました。皆さん美味しそうに召し上がっておりました。

クリスマス会



十二月二十四日、クリスマス会を開催しました。職員が各ユニットを回り、職員はハンドベルで、利用者さんにも鈴やタブリンを持って頂き一緒に演奏をしました。曲は「きらきら星」「歓喜の歌」「諸人ござりて」の三曲を演奏しました。中には演奏に合わせて素敵な歌声を聞かせてくれる利用者さんもいて、とても盛り上がったクリスマス会になりました。

昨年までは保育園から園児を招き、元気な踊りや歌声を聞かせて貰っていましたが、新型コロナウイルス予防の観点からそれは叶わず、今年は苑内のみで開催することとなりました。

小正月



一月十五日、小正月行事を行いました。前日からみずきへ利用者さんと職員で協力しながら飾りつけをしました。皆さんで協力しながら飾りつけを楽しんでやつされました。

昨日は、昼食で小豆粥を召し上がりました。小豆のような赤色の食べ物は邪気を払うと考えられており、一年中病気を来をしないようにとのことです。小豆粥を食べて邪気を払い、今年は大きな病気や怪我無く利用者さんが過ごすようお祈りしております。

東日本大震災から10年の節目の年を迎えて



一月下旬、地震を想定した避難訓練を実施しました。災害は、いつ起こるかわからないものです。緊急時に安全・確実に利用者の皆様を避難・誘導を行えるように訓練を行っております。現在は、コロナ禍と言う事もあり、密を避ける対策を取りつつ訓練は行われました。今年は、あの未曾有の大災害、東日本大震災から十年の節目の年になります。あの時の経験を忘れずこれからも皆様の安全の為、取り組んで行きます。

防災委員長 切金 理恵

厨房から 愛護苑の食卓

イチゴのムース（4人分）

◆材料

・いちご…1パック 　・ホイップクリーム…適宜 　・レモン汁…大さじ1 　・チョコのお菓子などの飾り
・グラニュー糖…80g 　・粉ゼラチン…6g 　・水…大さじ3 　・生クリーム…200cc

◆作り方

1. ゼラチンは水にふやかし、電子レンジで溶かす（熱くなるので注意）
2. いちごはグラニュー糖をまぶし電子レンジで加熱しミキサーにかける（みじん切りにしてもOK）
3. 溶かしたゼラチンと2を混ぜ合わせる
4. 生クリームを泡立てて（とろりとするまでOK）
5. 3と4を混ぜてカップに固める（冷蔵庫で1時間ほど）
6. 完全に固まったのを確認して上にトッピングをする

✿3月3日ひな祭りのおやつに登場しました♪

✿写真のムースは上にいちごペーストをかけています

栄養士 小野寺 彩



花粉症と新型コロナウイルス感染症の主な症状について

今年の花粉の飛散量は昨年よりも多いと予想されています。花粉症の主な症状と言えばくしゃみや咳ですが、現在公共の場でくしゃみや咳をするときコロナを疑われる事もあります。そんな中「花粉症です」「アレルギーです」と書いたマスクに貼るステッカーも売られているようです。マスクや手洗いなど基本的な感染対策を取りながら、一日でも早く利用者さんとご家族が面会できるよう日々願っています。



看護師 千葉 律子

軽い風邪症状	鼻水・鼻づまり	くしゃみ	主な花粉症の症状 アレルギー性疾患	主な新型コロナウイルス 感染症の症状 (ワイルス性疾患)
咳 息切れ	全身筋肉痛	味覚・嗅覚障害		

医務から 健康トピック



お誕生日おめでとう



黒田助獅子舞門付



編集後記

コロナ対策のソーシャルディスタンスの為、頭をかじってもうえなかつたので：手作り獅子頭で皆さんの頭をかじつて無病息災をお祈りしました。

今年度は猛暑・記録的な大雪、新型コロナウイルスの感染拡大で大変な一年となりました。また、第三波で岩手県内でも死者が出る等、気の抜けない日々が続いています。愛護苑の利用者さんは夏の暑さ・冬の寒さ・コロナにもインフルエンザにも負けず、毎日笑顔で過ごされています。今年度は新型コロナウイルスの影響で、施設内での行事を開催も苦労が絶えませんでしょた。残念ながらご家族との面会や地域の皆様との交流の機会の少ない一年となりました。皆様のご理解、ご協力があったこそ、無事にコロナウイルスの感染者を出すことなく一ヶ月を過ごすことが出来たものを感じております。来年度は新型コロナウイルスが収束し、今まで以上に楽しい行事を行い、利用者さんと交流が出来る、笑顔が溢れる年になつて貰いたいものであります。